

# 次世代を担う

# 子どもたちを育成する

# 教育のプロになる。

Faculty of Education

## 教育学部

共同教員養成課程

- ▶ 小中連携教育コース
- ▶ 教育支援探究コース

〈熊本大学教育学部との  
共同教員養成課程を実施〉

学校教育課程 小中連携教育コース  
 伊藤 祥子 山口県 山口高等学校出身  
 阿部 桃菜 佐賀県 鳥栖高等学校出身  
 池尻 教大 佐賀県 三養基高等学校出身  
 中島 了平 佐賀県 鹿島高等学校出身

### 〈学部の特徴〉

令和8年度より、佐賀大学教育学部と熊本大学教育学部が、高度な専門性を備えた教員を共同で育成する「共同教員養成課程」が始まりました。両大学の教員による多彩な指導を通して幅広い知見を身につけるとともに、佐賀大学の強みである実践的指導力に熊本大学の強みである産学官連携による探究を融合させることで、質の高い学びを提供します。

- 「小中連携教育コース」では、小・中学校の9年間を一体的に捉え、義務教育期間全体を見据えて教育実践を行える能力を持った教員を養成します。児童期から思春期にかけての心身の発達過程や各教科の内容をふまえ、一人ひとりの学習意欲を高めながら着実な理解や達成の積み重ねへと導き、学力向上を実現することのできる指導・支援のあり方を学修します。専攻は「小学校教育主免専攻」と「中学校教育主免専攻」の2つです。
- 「教育支援探究コース」では、子どもの生活・発達・学習について、心理、教育・保育、特別支援教育の視点から専門的知識や技能を学びます。また、これらの知識や技能をもとに子どものニーズや課題を把握できる教員を養成します。専攻は「発達支援専攻」と「特別支援教育専攻」の2つです。

### ■ 教育目的

教育学部では、幼児・児童・生徒の心身の発達を長期的かつ連続的な視点から見据えながら、現代社会の変化に伴うさまざまな教育課題に応えることができる学校教員の養成を目的としています。

アドミッション  
ポリシーはこちら



### ■ 在学生インタビュー



### 「教師へのとびら」をきっかけに 4年間かけて「いい先生」を探求

高校生の時、佐賀大学主催の「教師へのとびら」に参加した際に、「いい先生ってどんな先生？」という議題に納得のいく答えが見つからず、それを4年間かけて探していきたいと思志しました。1年次から実践的な知識を身につけることができ、複数の免許取得が可能なおかげで、小中一貫教育や特別支援教育に強い教員を目指すという点にも魅力を感じました。音楽科に所属し、小学校各教科や専門科目である音楽について実技を交えながら学びを深め、趣味である合唱や吹奏楽も楽しんでいました。また、学年の取りまとめ役を務めたことで、学級運営に不可欠な計画性やリーダーシップが身につく、視野も広がったと感じています。将来は指導スキルが高だけでなく、居場所づくりができる教員になりたいと思っています。

学校教育課程 小中連携教育コース  
徳永 月渚 佐賀県 鳥栖高等学校出身

インタビュー動画も  
ご覧ください



## 複数免許の取得で広がる 教育者としての幅広い可能性

### 01 熊本大学教育学部との 共同教員養成課程を実施

二つの国立大学が連携し、互いの強みを活かしながら、新たな教員養成に取り組んでいます。



#### 共同教員養成課程のポイント

構成大学は、一の大学が開設する授業科目を、その他の大学の教育課程の一部とみなして、同一内容の教育課程を編成

学生はそれぞれの構成大学において共同教育課程の開設した授業科目の単位をそれぞれ31単位以上取得(卒業要件)

共同学科等の課程を修了した学生に構成大学による連名の学位(共同学位)を授与

共同科目(一方の大学の教員が両方の大学の学生に向けて授業を開講)」「シラバス共通科目」「(各大学の)独自科目」を通して学びを進めていきます。佐賀大学の教員の授業は主に対面で、熊本大学の教員の授業は主にオンラインで実施します。

### 02 教育支援と小中連携教育を実現する 複数免許の取得をサポート

教育学部ではどのコースを選んでも「幼稚園教諭」「小学校教諭」「中学校教諭」「高等学校教諭」「特別支援学校教諭」から複数の免許取得が可能です。「幼稚園教諭」と「小学校教諭」のダブルライセンスや、小中一貫教育に携わるために「小学校教諭」「中学校教諭」を組み合わせるなど、目指す将来に必要な資格を在学中に取得できます。



#### ◎小・中・高は教科の免許・取得が可能

「保育士」の資格取得には、国家試験の受験が必要です。

教科教育に重点を置き、各教科の学びを深めて専門知識と技能を身に付けます。小学校での英語教育に対応して、英語にも力を入れています。

全校種対応 取得可能な中学・高校の免許科目一覧



#### ◎特別支援学校教諭の免許取得も充実

(教職大学院への進学→修了で専修免許も取得可能)

特別支援学校の教員になるためには、教諭免許状のほかに「特別支援学校教諭免許」が必要となります。教育支援探究コースでは、子どもの生活・発達・学習について、心理・教育・保育、特別支援教育の視点から専門的知識を学び、免許取得をサポートします。特別支援教育にも強い教員を目指します。



丁寧なサポート体制

### 高い能力を備えた教育者を育成する充実の環境

現場で教える教科内容を「質の高い授業」で学習

レベルの高い研究業績を持つ教員による、教科教育・教科内容で学びを深めます。学校教員になるための「質の高い授業」によって、教育現場で活用できる知識・技能を身に付けます。

理論と実践、どちらも高いレベルで修得可能

教育学部から教職大学院まで「6年間の教員養成」を見据えた学修が可能。また、佐賀県公立学校教員採用選考試験においては、一般・教職教養試験免除制度\*が新設されました。  
\*教職大学院修了後の専修免許状所有者(見込み含)対象

学部教員が一丸となって試験対策を丁寧に指導

教員採用試験対策は、学部教員全員による丁寧な2次試験対策を中心とした指導を実施。過去問題の提供や実技指導など綿密な支援策で、合格への実力を積み上げていきます。

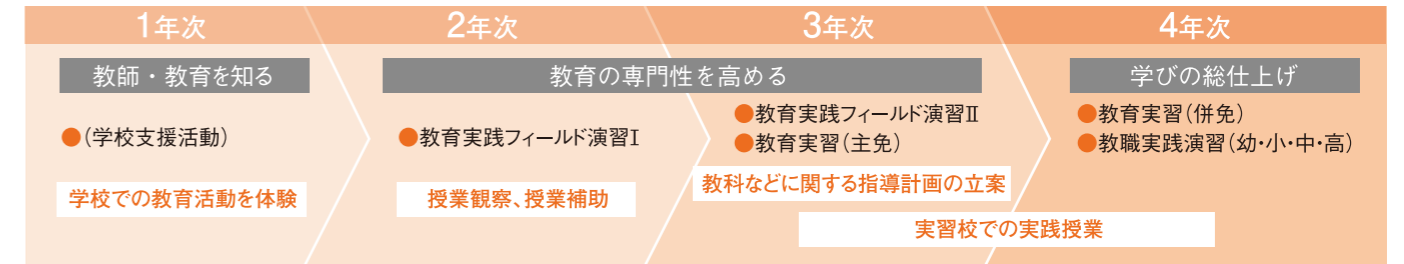
### 03 1年次から学校現場、3年次から教育実習へ、 実践経験を積むフィールド演習

学内での講義のほかに体験学習をバランスよく組み合わせ、早い段階から教育現場での経験を積み、社会に出るときに即戦力として輝ける力を身に付けます。



[4年間の教育実習のイメージ]

※本表に記載の開講科目、配当年次等に関しては全て予定であり、内容には変更があります。



#### ▶附属学校での実習

教育学部には、一人ひとりの個性と能力を生かす教育の場である4つの附属学校園があります。教員を目指す学生が教育実習を行うのもこれらの施設です。



附属幼稚園



附属小学校



附属中学校



附属特別支援学校

#### ▶附属教育実践総合センター

佐賀大学教育学部には附属教育実践総合センターがあり、附属学校園や学内外の関係機関との連携のもと、教育の研究や実践力向上を目的としています。地域に開かれたセンターとして、教育に関する情報を発信し相談窓口の役割も果たしています。



吉野ヶ里町立三田川小学校 勤務  
西坂 修弥さん  
教育学部 学校教育課程 小中連携教育コース  
2021年3月卒業

【業務内容】  
勉強のほか、給食や掃除、友だちとの関わりなど、子どもたちの成長を日々サポート。

### たくさんの学びや経験を積み重ね 多方面から子どもたちの成長を支えられる教員に。

私は佐賀県内の小学校で、国語、算数、社会、理科など幅広い教科の勉強を教えています。教育学部で、授業のやり方や子どもの行動の見取り方など多方面で学んだことがちゃんと役立っていると感じています。今でも時々「もっと勉強しておけばよかった」と思う事もあるので、今勉強中の学生たちは在学中にたくさん学んでほしいと思います。また学生時代には、Green-Nexusという団体に所属し、子どもたちや地域の方に向けたイベントを企画・運営していました。講義との両立は大変でしたがとても充実し、その時の経験も今に活かしています。将来は、子どもたちの成長を様々な面からサポートできる教員になりたいと思っています。そのためには社会人になってからも学び続ける姿勢が大切だと感じ、毎朝読書をして知識を深める、長期休暇には旅行に行くなど、多くのことを経験するように心がけています。





詳細情報はこちら

理論と実践を繰り返し  
確かな教育実践力を  
身につけていきます



将来、佐賀県で英語教育に携わりたいと考え、専門的に学べる教育学部を志望しました。副専攻として、語学力や国際的な視野を広めることができる英語コースを履修できる点も魅力でした。私の好きな英語科教育法では、模擬授業やフィールドワーク等の実践的な学びが多く、着実に指導力の向上を図れていると感じています。4週間の教育実習では、授業づくりや児童理解について学ぶとともに、子どもたちの成長を見守る喜びも実感することができました。また、これらの実践的な学びを通して人前で話す力やわかりやすく伝える力がついてきたことも、大きな成長だと考えています。将来は、佐賀県の高校英語科教員として生徒の思いに寄り添い、英語を通して世界とつながる喜びを実感できる授業をしたいと考えています。

学校教育課程 小中連携教育コース  
鈴山 愛玲 佐賀県 武雄高等学校出身

1 学びの特色 解決に取り組める人になる

教員としての責任を自覚し、学校教育をめぐる今日的な課題の解決に真摯な姿勢で取り組むことができる力を育成します。

2 学びの特色 個人に応じた教育を行える人になる

児童生徒の発達についての確かな理解を持ち、保護者や地域と手を携えながら、一人ひとりの心身の状態に応じた教育を展開できる力を育成します。

3 学びの特色 児童生徒の知的好奇心に応える人になる

児童生徒の知的好奇心に応えと共に、学修内容の確かな理解へと導くことができる力を育成します。

専攻の特徴

初等教育と中等教育を一体として捉えた特色ある教育を行います。「小学校教育主免専攻」では、児童の発達段階に応じた学級経営や各教科の教育スキルを幅広く学修します。「中学校教育主免専攻」では、各教科への深い造詣と生徒の発達段階に応じた授業構築を学修します。

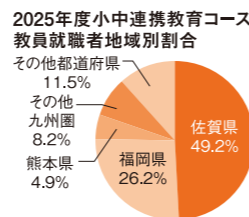
卒業と同時に取得できる教育教員免許状

専攻	幼I	幼II	小I	小II	中I	中II	高I	特支I
小学校教育主免	▲	▲	◎	▲	▲	◎	▲	▲
中学校教育主免	▲	▲	▲	◎	◎	▲	▲	▲

I：一種免許  
II：二種免許  
◎：卒業要件(必須)  
▲：選択取得可能

主な進路

- 〈就職先〉
- 佐賀県内ならびに九州各県の公立小学校、中学校、公立私立高等学校、特別支援学校、幼稚園
  - その他、公務員(自治体)、一般企業(情報・金融・広告等)
- 〈進学先〉
- 佐賀大学大学院学校教育学研究科(教職大学院)



カリキュラム一覧

	1年次	2年次	3年次	4年次
教養教育科目	大学入門科目	共通基礎科目「英語」		
	共通基礎科目「情報リテラシー」			
専門教育科目	基本教養科目(自然科学と技術、文化、現代社会)			
	インターフェース科目			
小学校教育主免専攻	【専攻の科目(国語科の場合)】 ●書写 ●書道I・II ●書論・鑑賞	【専攻の科目(国語科の場合)】 ●国語学概説I・II ●国語学演習I ●国語学概説 ●国文学論	【専攻の科目(国語科の場合)】 ●国語学演習II ●国文学演習III ●国文学演習III・IV ●漢文学概説II ●書道科指導法II	【専攻の科目(国語科の場合)】 ●国語学演習III ●卒業研究 など
	【教職・教科(小学校)の科目】 ●初等書写 ●初等書道 ●初等音楽 ●初等家庭 ●初等外国語	【教職・教科(小学校)の科目】 ●初等国語 ●初等社会 ●初等算数 ●初等理科 ●初等生活 ●初等図画工作 ●初等体育	【教職・教科(小学校)の科目】 ●初等国語 ●初等社会 ●初等算数 ●初等理科 ●初等生活 ●初等図画工作 ●初等体育	【教職・教科(小学校)の科目】 ●初等社会科指導法I・II ●初等生活科指導法I・II ●初等音楽科指導法I・II ●初等図画工作科指導法I・II ●特別支援教育の基礎・展開 ●教育相談の理論及び方法 ●進路指導及びキャリア教育の理論及び方法 など
中学校教育主免専攻	【専攻の科目(理科の場合)】 ●基礎物理学A・B ●基礎化学A・B	【専攻の科目(理科の場合)】 ●量子物理 ●化学概論II ●地学概論II ●基礎生物学B ●基礎地学A ●地学概論II ●基礎物理学実験 ●基礎化学実験 ●基礎生物学実験 ●基礎地学実験	【専攻の科目(理科の場合)】 ●エネルギー科学 ●物理化学 ●有機・有機化学 ●生命科学 ●地球科学 ●中等理科指導法I・II・III・IV	【専攻の科目(理科の場合)】 ●卒業研究 など
	【教職・教科(小学校)の科目】 ●初等書写 ●初等理科 ●初等音楽 ●初等家庭 ●初等外国語	【教職・教科(小学校)の科目】 ●初等国語 ●初等社会 ●初等算数 ●初等理科 ●初等生活 ●初等図画工作 ●初等体育	【教職・教科(小学校)の科目】 ●初等国語 ●初等社会 ●初等算数 ●初等理科 ●初等生活 ●初等図画工作 ●初等体育	【教職・教科(小学校)の科目】 ●初等社会科指導法I・II ●初等生活科指導法I・II ●初等音楽科指導法I・II ●初等図画工作科指導法I・II ●特別支援教育の基礎・展開 ●教育相談の理論及び方法 ●進路指導及びキャリア教育の理論及び方法 など

※本表に記載の開講科目、配当年次等に関しては全て予定であり、内容には変更があります。

授業紹介

**解析学基礎**

山津 幸司 教授

微積分学の基礎を学びます。また、微積分学が他の理工学分野にどのように応用されているかについても説明します。

**初等外国語指導法I・II**

石川 美也子 准教授

小学校外国語活動・外国語科の目標・指導法・評価を学び、指導を支える理論や授業実践の諸問題への理解を深め、英語指導の実践力を修得します。

**基礎化学実験**

理科の実験風景の1コマです。写真は化学領域です。少数人数での実験です。知識及び技能の習得・確認を行うとともに、未知の事象に遭遇した時の思考力、判断力を訓練します。

研究室・ゼミ紹介

**体育心理学**

山津 幸司 教授

本講義の学習を通して、小学校の体育や中学・高等学校の保健体育の教師として「体育授業」「運動部活動」の指導場面で心理学の知見を応用できるようになることを目指します。運動・スポーツをより効果的、効率的かつ継続的に実践していくには、身体的側面のみならず心理学的な諸理論の理解が不可欠です。特に運動学習や運動・スポーツに対するモチベーション、スポーツメンタルトレーニングを学習します。

**国語科授業論**

達富 洋二 教授

国語科教育は、言葉を操作することだけを目的にしているのではなく、言葉の獲得(習得)と活用(習熟)を往還しながら、生涯にわたって言葉を学び続け、言葉を通して人間関係をひらいていけるようになることを目指しています。子どもが一人でも言葉を操作できるように、そして操作できるようになったことをつなぐ役立ちようにならば、言葉の学び手として成長し続けるように教えることが教師の仕事です。教師として必要な「教えること」について丁寧に学んでいきます。

**ピアノ演奏学**

石川 美也子 准教授

ピアノの作品を通して、楽曲解析により洞察力を養い、客観的な思考や演奏表現のための身体の使い方を学びます。創造力を高め、効果的に表現へ変換する演奏技能を習得します

**卒業生の主な卒業論文テーマ**

- 算数教育における子供のつまずきを減らすための指導法について
- 「社会に開かれた教育課程」の実現をめざす音楽科の授業づくりに関する研究
- 小学校体育授業と道徳教育についての研究
- 縮野温泉の降水による水質変化
- 小学校家庭科における包丁を使った食品の切り方についての映像教材の開発
- 小学校外国語教育におけるCLIL(内容言語統合型学習)の実現可能性についての考察
- 小学校国語科における「書く力」を育成する言語活動の研究
- 社会参画としての学力を育成する学習環境デザインの研究
- 人工知能(AI)初学者向けの教材開発
- 発達段階に応じた性の多様性(LGBTQ)に関する教育の研究
- 小学校の教科教育におけるICT機器の活用について

教員紹介

達富 洋二 教授 国語科授業論	中里 理子 教授 日本語学	奥野 新太郎 准教授 中国古典文学
岡本 託 教授 西洋史	後藤 正英 教授 倫理学・思想史	吉岡 剛彦 教授 基礎法学
黒田 圭介 准教授 地理学	橋本 貴弘 准教授 数学教育	大林 将興 准教授 数学教育
川中子 正 教授 解析学	岡島 俊哉 教授 有機化学	角縁 進 教授 火山学・岩石学
堀 正勝 教授 動物生理学	高島 千鶴 准教授 地球科学	石川 美也子 准教授 ピアノ
中村 聡 教授 理論物理学	今井 治人 教授 指揮	
荒巻 治美 教授 音楽科教育学	小村 朋代 特任講師 音楽	
栗山 裕至 教授 造形教育		
葛西 昌代 准教授 書道		
井上 伸一 教授 スポーツ科学	坂元 康成 教授 スポーツ科学	山津 幸司 教授 体育心理学・健康行動学
堤 公一 准教授 保健体育科教育学	町田 正直 准教授 保健体育科教育学	大石 寛 助教 体育科学・運動生理学
小野 文慈 教授 機械工学	久屋 寛 教授 電子情報工学	
澤島 智明 教授 住生活学	中西 雪夫 教授 家庭教育学	萱島 知子 准教授 食生活学
小松 美和子 准教授 衣生活学		
ジョサン モリス 准教授 英語コミュニケーション	林 裕子 准教授 外国語教育学	吉村 圭 准教授 英米・英語圏文学



詳細情報はこちら



いろいろな人に  
出会い、学びを深め  
自分の成長を実感する日々

特別支援学級の先生に憧れ、小学生の時から特別支援教育に携わるのが夢でした。佐賀県内での就職を希望しているので、地域の教育を理解するためにも佐賀大学を志望しました。佐賀大学の魅力の一つは、カリキュラムが充実している点です。1年次から学校現場を訪れる機会があり、早い段階で実際の教育現場や先生方に触れることができたのはいい経験だったと思います。同じ目標を持つ友人たちはもちろん、小学校や特別支援学校での教育実習で出会った先生方や子どもたちなど、いろいろな人と触れ合うことで視野が広がり、多様な価値観に触れることで一人の人間として成長できたと感じています。将来は、教師として佐賀県内で働き続け、誰もが「学校って楽しい!」と感じられるように、強く優しい教師でありたいと思います。

学校教育課程 幼小連携教育コース  
横山 和香 佐賀県 伊万里高等学校出身

学びの特色 1 解決に取り組める人になる

教員としての責任と使命を持ち、学校教育をめぐる今日的な課題の解決に取り組むことができる力を育成します。

学びの特色 2 子どもを支援できる人になる

子どもの発達についての確かな理解を持ち、子ども一人ひとりの状態に応じた支援を展開できる力を育成します。

学びの特色 3 多様な人と協働できる人になる

保護者や家庭など子どもの生活と関わる他者と連携し、子どもの育ちを支える役割を担うことができる力を育成します。

専攻の特徴

「発達支援専攻」では、子どもの発達を心理学、保育・幼児教育学、教育学の観点から包括的に理解する力を育みます。「特別支援教育専攻」では、特別な教育的ニーズを持つ子どもに対して適切な教育的支援を行える能力を育てます。

卒業と同時に取得できる教育教員免許状

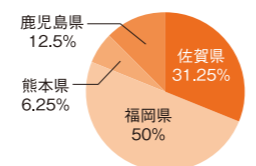
専攻	幼I	幼II	小I	小II	中I	中II	高I	特支I
発達支援	▲	◎	◎	▲	▲	▲	▲	▲
特別支援教育	▲	▲	◎	▲	▲	▲	▲	◎

I：一種免許  
II：二種免許  
◎：卒業要件(必須)  
▲：選択取得可能

主な進路

- (就職先)  
●佐賀県内ならびに九州各県の公立小学校、中学校、公立・私立高等学校、特別支援学校、幼稚園  
●その他、公務員(自治体)、一般企業(情報・金融・広告等)
- (進学先)  
●佐賀大学大学院学校教育学専攻科(教職大学院)  
●長崎大学大学院教育学専攻科(教職大学院)

2025年度教育支援探究コース 教員就職者地域別割合



カリキュラム一覧

	1年次	2年次	3年次	4年次
教養教育科目	大学入門科目	共通基礎科目「英語」		
	共通基礎科目「情報リテラシー」	基本教養科目(自然科学と技術、文化、現代社会)		
発達支援専攻	【専攻の科目】 ●幼児と人間関係 ●保育内容(人間関係) ●幼児教育と保育の原理 ●特別支援教育基礎論	【専攻の科目】 ●幼児と健康 ●幼児と環境 ●幼児と言葉 ●幼児と表現I-II ●発達心理学	【専攻の科目】 ●教育哲学 ●道徳教育と学級経営 ●心理学の研究法 ●道徳教育の心理学	【専攻の科目】 ●卒業研究 など
	【教職・教科(小学校)の科目】 ●初等書写 ●初等理科 ●初等音楽 ●初等家庭 ●初等外国語 ●教育原理A(理念及び思想)・B(歴史・制度) ●教職入門 ●現代の教育と社会A・B ●教育心理学A(学習)・B(発達) など	【教職・教科(小学校)の科目】 ●初等国語 ●初等社会 ●初等算数 ●初等理科 ●初等生活 ●初等図画工作 ●初等体育 ●初等英語指導法I-II ●初等算数指導法I-II	【教職・教科(小学校)の科目】 ●初等理科指導法I-II ●初等家庭科指導法I-II ●初等体育科指導法I-II ●初等外国語指導法I-II ●教育課程論 ●道徳教育の理論・実践 ●特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	【教職・教科(小学校)の科目】 ●初等社会科指導法I-II ●初等生活科指導法I-II ●初等音楽科指導法I-II ●初等図画工作科指導法I-II ●特別支援教育の基礎・展開 ●教育相談の理論及び方法 ●進路指導及びキャリア教育の理論及び方法 など
専門教育科目	●(学校支援活動)	●教育実践フィールド演習I	●教育実践フィールド演習II ●教育実習(主免)	●教育実習(併免) ●教育実習(主免)
	【専攻の科目】 ●特別支援教育基礎論 ●知的障害児教育総論 ●知的障害児の心理・生理・病理 ●脳障害児教育総論 ●脳障害児の心理・生理・病理 ●脳障害児教育総論	【専攻の科目】 ●知的障害児の心理・生理・病理 ●脳障害児教育総論 ●知的障害児の心理・生理・病理 ●脳障害児教育総論 ●脳障害児教育総論	【専攻の科目】 ●知的障害児教育総論 ●重複・複合・聴覚障害児教育総論 ●聴覚障害児の心理・生理・病理 ●聴覚障害児教育総論 ●聴覚障害児の心理・生理・病理	【専攻の科目】 ●知的障害児指導法 ●知的障害児アセスメント論 ●発達障害児脳科学論
特別支援教育専攻	【教職・教科(小学校)の科目】 ●初等書写 ●初等理科 ●初等音楽 ●初等家庭 ●初等外国語 ●教育原理A(理念及び思想)・B(歴史・制度) ●教職入門 ●現代の教育と社会A・B ●教育心理学A(学習)・B(発達) など	【教職・教科(小学校)の科目】 ●初等国語 ●初等社会 ●初等算数 ●初等理科 ●初等生活 ●初等図画工作 ●初等体育 ●初等英語指導法I-II ●初等算数指導法I-II	【教職・教科(小学校)の科目】 ●初等理科指導法I-II ●初等家庭科指導法I-II ●初等体育科指導法I-II ●初等外国語指導法I-II ●教育課程論 ●道徳教育の理論・実践 ●特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	【教職・教科(小学校)の科目】 ●初等社会科指導法I-II ●初等生活科指導法I-II ●初等音楽科指導法I-II ●初等図画工作科指導法I-II ●特別支援教育の基礎・展開 ●教育相談の理論及び方法 ●進路指導及びキャリア教育の理論及び方法 など

※本表に記載の開講科目、配当年次等に関しては全て予定であり、内容には変更が及び得ます。

授業紹介

保育内容(表現II)



幼児教育や保育の実践で行われる造形活動について、模擬的な体験を行いながら、その意義や、有効な造形素材・技法を学びます。

道徳教育と学級運営

子どもたちの学校生活や人間関係に直結する道徳教育と学級経営について考えます。前半は多様性、個性、成長、ウェルビーイングといったキーワードに基づく知識学習、後半はチームで学級経営案を構想・発表します。これらを通して、「唯一の正解」のない領域における自分自身の教育理念を見つめ直し、具体的な実践に結びつける力を養います。

知的障害児教育総論



知的障害の障害特性を科学的・客観的にとらえ、知的障害のある児童生徒の支援に必要な心理的支援及び指導を行うための基本的事項について学びます。

研究室・ゼミ紹介

特別支援教育

芳野 正昭 教授



ゼミ生各自が興味・関心のあるテーマ(障害児支援、交流および共同学習、きょうだい児支援等)を決めて卒業研究に取り組み、障害児の理解と支援に関して研鑽を積んでいきます。

心理学

石井 宏祐 教授



教育現場の今日的課題について、心理学的方法を用いて実証的に検証します。学生たちは不登校やいじめ、心の病などをテーマに研究に取り組んでいます。

教育学

成松 美枝 教授

教育学ゼミは、学生の興味や関心を出発点に、子ども・学校・地域に関わる多様な教育課題を丁寧に探究していくゼミです。子どもの発達を教育学の観点から理解し、よりよい学びや実践につながる視点を育みます。

発達生理心理学

日高 茂暢 准教授

子どもの発達と障害について、心理学や脳科学の研究と心理支援の実践研究をしています。脳波や眼球運動等の生理指標や心理検査等を通じて障害理解と支援を考えます。

卒業生の主な卒業論文テーマ

- アプローチカリキュラムにおける5歳児の片づけ
- 幼小連携教育における小学校教諭の指導要領の活用について
- 地域との連携における学習機会への考察
- 小学生における学習動機付けと学習適応との関連
- 特別支援学校における知的障害児への教育のあり方
- 発達障害・知的障害の子どもを持つ家族の思いと支援のあり方
- 保護者へのインタビュー調査を通じて
- 親子の情緒的支援の方向性が親子の親密さおよび子の自尊感情に与える影響
- 自己表現の観点から見る人間関係を高める幼児教育
- 長崎県の風土教育の現状と可能性
- 新上五島町の教育実践に着目して
- 道徳科(内容)の内容項目に関する一考察
- 教科書分析を通じて
- 小学校におけるアフターケアと考える児童生徒への支援等の実態
- 補助者の抑制と促進
- LDにおける言語性に対するスマップ特性と読み書き困難との関係性について
- 小学校におけるキフテッドであると考える児童生徒への支援等の実態

教員紹介

発達支援

- 成松 美枝 教授 足立 佳菜 准教授  
教育制度 道徳教育  
石井 宏祐 教授 名倉 一美 准教授  
臨床心理学 保育学

特別支援教育

- 芳野 正昭 教授 日高 茂暢 准教授  
特別支援教育 特別支援教育  
中村 理美 講師  
特別支援教育

附属教育実践総合センター

- 和久屋 寛 教授 石井 宏祐 教授  
電子情報工学 臨床心理学  
中尾 通孝 准教授 村山 詩帆 准教授  
義務教育・教師教育 教育社会学  
古賀 崇朗 助教  
教育工学